

## ＜香川県内の経済動向＞（2019年1月作成分）

現在の景気：回復している。

3か月程度の見通し：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。

### 個人消費：

- ① 着実に持ち直している。
- ② 11月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年並み。店調後は前年比2.9%減と5カ月連続で減少。11月のコンビニエンスストア販売（速報値）は、前年比0.1%増と2カ月ぶりに増加。11月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前）4.2%減と2カ月連続で減少、ドラッグストアが同6.0%増と44カ月連続で増加、ホームセンターが同0.8%増と2カ月連続で増加し、全体では同1.6%増と13カ月連続で増加。11月の乗用車新車販売は、普通乗用車で前年比14.9%増、小型乗用車で同0.8%増、軽乗用車で同13.0%増加し、全体では前年比10.1%増と2カ月連続で増加。

### 住宅建築：

- ① 貸家を中心に減少している。
- ② 11月の住宅着工戸数は、持家で前年比2.9%減少したものの、貸家で同32.6%増、分譲住宅で同156.0%増加し、全体では前年比33.8%増と2カ月ぶりに増加。

### 設備投資：

- ① 増加している。
- ② 「全国企業短期経済観測調査結果（2018年12月）-香川県-」における2018年度のソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資）は、全産業で前年度比54.8%増加見込み。

### 公共工事：

- ① 高水準だが、弱含んでいる。
- ② 11月の公共工事請負額は、国・独立行政法人等で前年比49.6%減、市町で同28.3%減少したものの、県で同102.6%増加し、全体では同9.6%増と6カ月ぶりに増加。4～11月の年度累計では前年比6.7%減少。

### 輸出：

- ① 持ち直している。
- ② 11月の県内通関輸出額は、前年同月では実績のなかった船舶が80億円になったことから、全体では前年比141.0%増と4カ月連続で増加。1～11月の累計では前年比46.0%増加。

#### 生産活動：

- ① 振れを伴いつつも緩やかに持ち直している。
- ② 10月の鉱工業生産指数（季調済）は、前月比2.4%減少し、97.0と2カ月連続で低下。輸送機械工業（鋼船）、電気機械工業（開閉制御装置）などで低下。はん用・生産用機械工業（ころ軸受・高所作業車）、金属製品工業（アルミニウム建具）などで上昇。

#### 観光：

- ① 弱さがみられるものの、堅調に推移。
- ② 11月の県内テーマパークを含めた主要観光地の入込客数は、前年比2.7%減と2カ月ぶりに減少。1～11月の累計では前年比7.0%減少。

#### 雇用情勢：

- ① 好調に推移。  
11月の有効求人倍率（季調済）は、前月と同水準の1.79倍。新規求人数（原数値）は、建設業、サービス業等で増加し、運輸業・郵便業、卸売業・小売業等で減少となり、全体で前年比0.4%増と2カ月連続で増加。

#### （トピックス）

○香川などの国産オリーブオイルを対象とした全国規模の品評会を、国内でのオリーブ栽培発祥の地・小豆島で2019年2月に初開催すると県は発表した。品評会の名称は「日本オリーブオイル品評会」で、小豆島のオリーブ植栽110周年事業の一環。

県によると、国内で開かれている全国規模のオリーブオイル品評会は外国産を含めで行われており、国産に限った全国品評会は今回が初めて。九州など香川以外の産地との競争激化が見込まれる中、国産オリーブオイルの「ナンバーワン」を決め、品質の高さを広く国内外へ発信し、消費拡大につなげようと企画した。

2018年9月以降に国内で収穫したオリーブの果実のみを原料に用い、販売目的で製造したオイルが対象となる。出品は製造・販売業者単位で、今月28日まで全国からエントリーを受け付けている。

項目	変化方向			評 価				
	好転	不変	悪化	晴	晴一部曇	曇	曇一部雨	雨
現在の景気	○	●	○	○	●	○	○	○
3か月程度の見通し	○	●	○					
個人消費	○	●	○	○	●	○	○	○
住宅建築	○	●	○	○	○	●	○	○
設備投資	○	●	○	●	○	○	○	○
公共工事	○	●	○	○	○	●	○	○
輸出	●	○	○	○	●	○	○	○
生産活動	○	●	○	○	○	●	○	○
観光	○	●	○	○	●	○	○	○
雇用情勢	○	●	○	●	○	○	○	○
企業収益	○	●	○					
企業倒産	○	●	○					
資金需要	○	●	○					